



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で

パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、アルツハイマー病、進行性核上性麻痺と診断された方、特に疾患のない方

【研究課題名】

神経変性疾患におけるミスフォールド型タンパク質の検出と病理学的意義の解明

【研究責任者】

古川良明（慶應義塾大学 理工学部）

【本研究の目的及び意義】

神経変性疾患患者の脳脊髄液に含まれる構造異常型タンパク質の病理学的役割を明らかにします。

【本研究に提供する試料・情報】

髄液

性別、年齢、診断名

【研究期間】

2020年9月4日～2024年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

千葉大学大学院 薬学研究院

2024年1月

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)